

GOSATシリーズによる継続的な温室効果ガス（GHG）観測による気候変動に関する科学の発展と政策に寄与

1. 事業目的

温室効果ガス観測技術衛星の3号機（GOSAT-GW）の開発を行い、地球全大気の温室効果ガス濃度の状況を継続して把握する体制を強化する。

2. 事業内容

本事業は、宇宙基本計画に基づき、文科省と共同でGOSATシリーズの3号機衛星システムの開発を行い、温室効果ガス排出源の特定と排出量の推定精度向上を可能とする、世界でも先駆的な取組みであり、SDGsの実現のためのイノベーションにつなげる。更に、気候変動予測の精緻化により、温暖化による大規模災害の拡大防止など防災対策への貢献を目指す。

GOSATシリーズの3号機が目指すもの

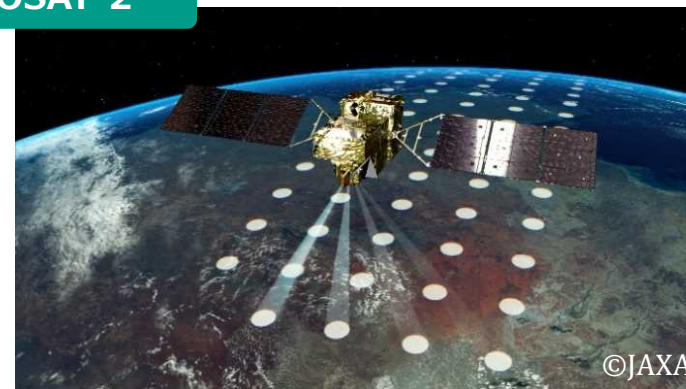
- (1) 地球全大気のコ二酸化炭素およびメタン濃度の継続モニタリング
- (2) パリ協定に基づく各国の温室効果ガスインベントリ報告の透明性の確保
- (3) 大規模排出源の監視をすることにより、気候変動予測の精緻化
温暖化による大規模災害の拡大防止など防災対策への貢献

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業
- 委託先 民間事業者・団体等
- 実施期間 令和元年度

4. 事業イメージ

GOSAT-2



点観測から面観測へ

GOSAT-GW

